

## 📷 2月定例会のご案内

### 「自由議題」

日頃の疑問をお持ちの上、自由な議題で、話し合いたいと思います。

インフルエンザだけでなく、新型コロナウイルスの話題で、もちきりですが、負けないよう奮ってご参加ください。

次回定例会は

日時 2020年2月17日（月）17時30分～19時30分

場所 日暮里サニーホール 第1会議室

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成日暮里駅より徒歩5分

## 👥 1月定例会のご報告

### 「総会」、「今年の方針について」

2020年ビズネット定時総会が行われ、

「役員の変更に関する件」、「特別会費制度に関する件」の議案について、承認がされました。詳細につきましては、吉岡さんの議事録をご覧ください。

今年一年間のビズネットの活動方針について、

- 1、上映会の開催（目的内容を決めたものから内容自由なものまで）
  - 2、企画もの（会社案内など、企業や団体を対象とするビデオ）の講習会
  - 3、研修会（親睦旅行）
  - 4、撮影のためのホール演奏会
- などが各会員から提案がされました。

また、ビズネット会員を増やすために、専門学校などの学生向けにアピールしたらどうか？ という意見が出されました。

（具体的には「学校で案内を出してもらおう」、「WEBサイトで案内の作成」）

以上敬称略

文責：脇田



## ✍️ 会員コラム

野上さん「ビデオマンの挑戦（2月号）」  
が続きます！

（文責各筆者）

## 定時総会議事録

令和2年1月17日 午後5時30分より、日暮里サニーホールにおいて、定時総会を開催した。

議決権のある会員総数	12名
出席会員数	8名
委任状	0通

以上のとおり会員の出席、および委任状があったので、副会長 近藤一明 は議長席につき、定時総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

### 第1号議案 役員の変更に関する件

議長は、役員全員が会則の規定に基づき、本定時総会終結をもって任期満了し退任することになるので、それらの改選の必要がある旨を述べた。立候補者は出なかったが、全役員留任の意見があり、これらの者につき、その可否を議場に諮ったところ、これを承認可決した。

会長、会計兼任	高橋 昌一
副会長、監査役兼任	近藤 一明
広報（HP 担当）	吉岡 伸次

なお、被選任者は即時就任を承諾した。

また、下記の者を役員推薦した。

広報（会報担当）	脇田 昇
----------	------

## 第2号議案 特別会費制度に関する件

下記のような事由が認められる会員については、特別に会費を減免する制度を設けることを踏まえ、準会員として、役員会により会費の金額を決定する。なお、準会員は総会における議決権は有しない。

- ・遠地により定例会等への出席が困難な会員
- ・会員の家族等

また、会則を以下の通りに改訂する。

年会費の特別会費の減免制度のため、第9条ののち、2の追加をする。

2 特別な事由のある会員についての年会費は、特別会費として減免を許可する。

- ・遠地により定例会等への出席が困難な会員
- ・会員の家族等

特別会費の該当の者は、準会員として、役員会により会費の金額を決定する。

なお、準会員は総会における議決権は有しない。

総会は、別段の異議なく、これを承認可決した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後7時30分解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席役員がこれに記名押印する。

令和2年1月17日

ビデオナー・ビズネット（日本映像制作者協会） 定時総会

議長	近藤 一明
監査役	
出席役員	高橋 昌一
会計	
出席役員	吉岡 伸次

# ビデオマンの挑戦 (2月号)

八王子映像ビデオマン : Isomitsu Nogami 2020.1.27

2月ですね。1月号は多忙の為執筆できませんでした。でも年賀状はビズネットの方も含めて多くの方々から頂戴できました。一番嬉しかったのは有限会社ドルフィン交易八王子映像の友からの年賀状だった。自分が映像を学びコンテストなどの面白さを教えて頂いた古巣の仲間である。一緒にビデオ講座などを開いたことは忘れられない。私も恥ずかしくないビデオマンとして社会人として活躍して行きたいと強く思った次第です。

1月で忙しかったのは「八丈島パブリックロードレース」に参加した為である。ご存知の方が多いと思いますが東京に属している伊豆諸島の中のひとつ、八丈島 (はちじょうじま)。東京・竹芝から大型船で約 11 時間、羽田空港から飛行機を利用すれば約 55 分でアクセスできる離島です。

私は 10 Km にエントリーし見事に完走して帰ってきました。どうせ走るならカメラを持って辺りの様子も映しながら走りたいというビデオマンのドキュメンタリーマインドが背景にはあった。この企画は首都大学東京・生命科学コースの野外講座 自然と歴史・文化を訪ねて～パブリックロードレースの楽しみとともに～生命科学コースの黒川先生の講座に参加してのエントリーだ。曇り空の下、八丈太鼓が鳴り響くスタートとなりました。

[https://www.youtube.com/watch?v=guSGs\\_NM-MA&t=30s](https://www.youtube.com/watch?v=guSGs_NM-MA&t=30s)



宿屋の WiFi を利用してその日の夜のうちに YouTube へアップロードができた。次の日は八丈島歴史民俗資料館へ「伊藤宏先生」の案内で見学をさせて頂きました。撮影の許可を頂きその様子をビデオ撮影、八丈島の各所を周り島の由来や残された遺跡を事細やかに説明され思い出の記録を残せた。伊藤先生は地元の学校で長く教鞭を執られていた方で別れに飛行場まで名残が辛かった。

撮影までにはいろいろありました。実は出発前に八丈島歴史民俗資料館に取材の申し入りのメールを致しました。すると八丈島町教育委員会の方から撮影についてという返事を受信しました。それにはコマーシャルとして (お金儲け) の撮影であるのか、個人的な撮影であるのかの確認でした。

このパブリックロードレースは島民挙げてのイベントですので当然その辺りでチェックが入っ

たものだと思います。会社としての撮影なのか個人としての撮影なのかは大きな意味を持っています。もし会社が営利を目的としての撮影であるならお金を払ってくれる会社のニーズに沿って撮影をするのが自然の流れです。クライアントの意に沿うものとなると・・・バイアスがかかるのは仕方ない事です。今回も撮らないでという場所では撮影を当然控えました。

マラソンをしている所を撮影するのは他の人も帽子にGOPROのカメラを付けて走っている人がいましたというお話を聞いて、今はもうそういう時代なのだと3Kmのコースと10Kmのコース・ハーフのコースはそれぞれ走る場所が違っています。そういう意味では道路で応援してくれる人達（八丈太鼓やトランペットを引いてくれる人）など水やジュースを沿道で応援してくれる人がなんとも人情を感じましたね・ガンバレ・ガンバレ！ オウと言った言葉を交わしながら走るのは気分爽快です。なんせ私は聖火ランナーのように右手に **Manfrotto Compact** 小さな一脚の上にハンディカムを載せて 360 度自由に撮影できる体制で走ったのです。目立ちます。皆さんその体制で応援してくれるのでこちらも完走しなくては申し訳ない(笑)

一番勇気を与えてくれたのは地元の中学生の野球部でした。この一団はグループで走って掛け声もみんな一緒にしてくれる。このグループが私のすぐ後ろから迫ってきてとうとう最後まで走らなければならない運命となってしまったのです（泣）

[https://dolphin50.com/video/hachi\\_gaku/hachi\\_gaku.html](https://dolphin50.com/video/hachi_gaku/hachi_gaku.html)

（36 分の映像です、自社サイトにアップロード）



今年のスタートは何となく運に恵まれてきたような思いが致します。病気の経過観察 5 年目を迎えた。来年もこの八丈島パブリックロードレースに参加できるよう頑張れば自然と体力も付いてくる。ポジティブな思考で活動して行こう・FB や YouTube へ日記代わりにアップして行きます。

Dolphin Trading Inc. Rep. 野上五十満